

## 軽度外傷性脳損傷患者の実態調査報告書 2013 年 訂正箇所一覧

集計上の誤り、記載ミスおよび追記などが判明しました。

訂正した箇所は、下記の通りです。

なお、記載漏れがあった例数および小数点一桁は、ここには記載していません。

ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

### 【要旨】

#### 1 ページ

<12 行目>

MTBI と診断されるまでに受診した医療機関の数は、4～6 箇所が 19 名 (34.5%) で最も多く、次いで 16 箇所以上が 10 名 (18.2%) であった。4 箇所以上の医療機関を受診していた患者は 46 名 (83.6%) であった。

<25 行目>

介護保険は「適応あり」が 7 名(12.7%)、生活保護は 7 名(12.7%)が受けていた。

#### 2 ページ

<1 行目>

「認知障害得点」は、高群と中群を合計すると 46 名(83.6%)、「行動障害得点」は、高群と中群を合計すると 27 名(49.1%)と、高次脳機能障害を来している例が多かった。

### 【本文】

#### 3 ページ

<11 行目>

性別は、男性が 27 名 (49.1%)、女性が 28 名 (50.9%) であった (図 2)

#### 5 ページ

<4 行目>

意識不明の期間は、なしが 20 名(36.4%)、30 分以内が 35 名(63.6%)であった (図 8)

#### (6) MTBI と診断されるまでに受診した医療機関

MTBI と診断されるまでに受診した医療機関は、整形外科が 48 名 (87.3%)、脳神経外科が 37 名 (67.3%)、耳鼻科が 31 名 (56.4%)、眼科が 29 名 (52.7%)、神経内科が 25 名 (45.5%)、精神・神経科が 22 名 (40.0%)、リハビリテーション科が 20 名 (36.4%)、内科が 19 名 (34.5%)、泌尿器科が 16 名 (29.1%)、その他が 15 名 (27.3%)、受診していないが 1 名 (1.8%) であった (図 9)。

#### 6 ページ

#### (7) MTBI と診断されるまでに受診した医療機関数

MTBI と診断されるまでに受診した医療機関の数は、1～3 箇所が 8 名 (14.5%)、4～6 箇所

所が 19 名 (34.5%)、7~9 箇所が 8 名 (14.5%)、10~12 箇所が 6 名 (10.9%)、13~15 箇所が 3 名 (5.5%)、16 箇所以上が 10 名 (18.2%)、回答なしが 1 名 (1.8%) であった (図 10)。

#### 7 ページ

##### (10) 身体障害者手帳所持状況

身体障害者手帳は、「持っている」が 29 名(52.7%)、「持っていない」が 20 名(36.4%)、「回答なし」が 6 名(10.9%)であった (図 13)。

#### 8 ページ

##### <4 行目>

精神障害者保健福祉手帳障害等級の内訳は、2 級が 10 名(55.6%)、3 級が 7 名(38.9%)、「回答なし」が 1 名(5.6%)であった (図 16)。

##### (12) 介護保険

介護保険は、「適応あり」が 7 名(12.7%)、「適応なし」が 47 名(85.5%)、「回答なし」が 1 名(1.8%)であった (図 17)。

介護度の内訳は、要介護 1、3、5 がそれぞれ 1 名(14.3%)、要介護 2 が 2 名(28.6%)、「回答なし」が 2 名(28.6%)であった (図 18)。

#### 10 ページ

##### <4 行目>

頭痛が 48 名(87.3%)、「視覚障害」が 47 名(85.5%)、「味覚障害」が 45 名(81.8%)、「自

#### 12 ページ

##### <2 行目>

名古屋リハ調査の分類を用い分析したところ、各群の人数構成は、「認知障害得点」については高群が 27 名(49.1%)、中群が 19 名(34.5%)、低群が 4 名(7.3%)、8 点以下が 4 名(7.3%) であった (図 24)。「行動障害得点」は、高群が 11 名(20.0%)、中群が 16 名(29.1%)、低群が 14 名(25.5%)、7 点以下が 12 名(21.8%)であった (図 25)。

##### <10 行目>

(1.8%) だけであった (図 26)。行動障害の各項目の内訳は、「そう思う」と「ややそう思う」という割合が、7 項目のうち「欲求コントロール」を除く 6 項目の質問で 70%を超えていた。回答が一番多かったのは「持続性の低下」と「感情の爆発」が 47 名 (85.5%) で、続いて「対人関係が苦手」が 43 名 (78.2%) の順番であった。最も少なかった「欲求コントロールの低下」は 33 名 (60.0%) であった (図 27)

#### 13 ページ

##### <9 行目>

WHO が作成した作業的定義に基づき医師により診断された我が国の軽度外傷性脳損傷 (mild traumatic brain injury : MTBI) 患者の実態調査を実施した。

##### <15 行目>

MTBI と診断されるまでに受診した医療機関の数は、4～6 箇所が 19 名（34.5%）で最も多く、次いで 16 箇所以上が 10 名（18.2%）であった。83.6%の患者は 4 箇所以上の医療機関を受診していた。

#### 14 ページ

<17 行目>

認知障害は 83.6%が中群を超える得点で、行動障害は 49.1%が中群を超える得点で、高次脳機能障害の重症さが示される結果となった。

2016 年 5 月 10 日

小井土善彦